



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所 東  
 コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 直人  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)佐藤 陵枝 (TEL)03 (3841)5431  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,053	12.6	96	33.0	86	23.7	61	21.3
2019年6月期第1四半期	935	4.0	72	△11.9	69	△3.0	50	4.1

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 61百万円 (21.3%) 2019年6月期第1四半期 50百万円 (4.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年6月期第1四半期	14	27	—	—
2019年6月期第1四半期	11	21	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	6,007	36.0	2,161	36.0	2,161	36.0
2019年6月期	6,053	35.1	2,126	35.1	2,126	35.1

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 2,161百万円 2019年6月期 2,126百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2019年6月期	—	—	6.00	—	—	—	6.00	—	12.00	—
2020年6月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,000	4.1	200	23.7	180	45.3	110	16.0	25	42
通期	3,950	0.7	360	13.4	320	23.4	200	24.7	46	22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期1Q	4,541,000株	2019年6月期	4,541,000株
2020年6月期1Q	213,623株	2019年6月期	213,623株
2020年6月期1Q	4,327,377株	2019年6月期1Q	4,540,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における取り組みとして、当社グループの主力事業であります建設系リサイクル事業においては、取引先各社との受入調整により、処理需要への要望に対応するとともに安定稼働による処理数量の向上に注力してまいりました。2019年9月に発生しました台風15号の被害により生じた災害廃棄物の処理に関するお問い合わせを千葉県内の自治体からいただき、当社グループの処理能力でお応えできる範囲内ではありますが、1日も早い復旧に向け木くず等の受入を開始しております。また新規の外注委託先の開拓及び既存外注先への処理委託数量の増加に向けた交渉を進めることにより、売上高の向上に努めてまいりました。食品系リサイクル事業においては、液状化飼料の販売数量の減少にともない受け入れ先との調整を進めてまいりました。白蟻解体工事においては、解体工事の受注拡大に対応して施工体制の強化に努めてまいりました。森林発電事業は、発電燃料となる木材の安定調達とともに仕入れた木材の効率的な乾燥による木材の使用数量の削減に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は1,053百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

既存事業において人件費が前年同期比で増加するとともに森林発電事業で木材の払出し費用が増加したため、売上原価は881百万円（前年同期比9.1%増）となり、売上総利益は171百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費は75百万円（前年同期比38.1%増）となり、営業利益は96百万円（前年同期比33.0%増）となりました。経常利益は86百万円（前年同期比23.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、自社施設での処理が可能な数量及び自社で破砕処理後に外注委託が可能な数量を考慮した受入に制限したため、焼却施設の受入数量は前年同期と比較して5.9%の減少となりました。発電施設は2019年8月に2年に一度の法定点検を実施しましたが、他社発電施設の定期点検の影響等により受入数量は前年同期と比較して11.3%の増加となり、発電数量につきましても含水率の低い木くずの受入数量が増加したため前年同期と比較して9.3%の増加となりました。新築工事現場からの収集運搬事業も新規取引先の拡大により、売上高は前年同期比で58.1%増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は460百万円（前年同期比29.1%増）、売上原価は347百万円（前年同期比4.9%増）となった結果、セグメント利益は112百万円（前年同期比343.1%増）となりました。

#### ②食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量が2019年5月以降減少傾向で推移しております。液状化飼料を販売している養豚農家において、自主廃業や配合飼料への切り替え等が発生したため、第1四半期末の販売先は3軒となり、液状化飼料の販売数量は前年同期と比較して64.8%減少しております。食品循環資源の受入数量は、飼料の販売数量とのバランスを考慮しているため、前年同期比で38.0%減となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、25百万円（前年同期比42.7%減）、売上原価は31百万円（前年同期比25.3%減）となった結果、セグメント損失は6百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

#### ③白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては施工体制の充実に努めた結果、取引先からの紹介受注及び一般個人からの受注工事が増加したことにより売上高は前年同期比で5.7%増加しております。また、白蟻工事は既存工事施工の売上高が増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は62百万円（前年同期比6.4%増）、売上原価は61百万円（前年同期比11.9%増）となった結果、セグメント利益は0百万円（前年同期比82.0%減）となりました。

## ④森林発電事業

森林発電事業は、木材の安定調達と発電燃料の使用数量低減に注力してまいりました。また、木材をチップ化し粒度調整等を行う、木材破砕設備の改良により、パーク（木の皮）及び原木以外の端材破砕に関する作業効率の向上を推進してまいりました。発電燃料の使用数量低減につきましても、効率的に破砕、混合を促進することにより、発電電力が増減しない安定稼働を継続してまいりました。木材の安定調達につきましては、地域関係者の方々との協議を進めることにより、チップ化された燃料等、仕入数量の増加に努めてまいりました。電力小売につきましては、一般家庭の受注拡大に向け、業務委託による新規代理店の拡大に努めた結果、高圧の取引先は減少しておりますが、売上高は前年同期比で微増となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は505百万円（前年同期比6.1%増）、売上原価は木材の払出し費用が増加したため、440百万円（前年同期比16.2%増）と増加したことにより、セグメント利益は48百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて45百万円減少し、6,007百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、借入金の返済、分別保管棟建設資金の支払い等により現預金が減少したため、前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、1,975百万円となりました。固定資産については、分別保管棟建設による建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて14百万円増加し、4,032百万円となりました。

流動負債については、買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べて49百万円増加し、1,497百万円となりました。

固定負債については借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて131百万円減少し、2,348百万円となりました。

純資産については、配当及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べて35百万円増加し、2,161百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、食品系リサイクル事業については液状化飼料の販売数量を考慮した受入制限等により前年同期を下回っておりますが、その他の建設系リサイクル事業、白蟻解体工事、森林発電事業につきましては堅調に推移しております。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	1,053	935	118	1,009	44
売上原価	881	808	73	839	42
売上総利益	171	126	44	170	1
販売管理費	75	54	20	70	5
営業利益	96	72	23	100	△4

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,153,115	955,399
売掛金	486,916	476,721
たな卸資産	284,265	377,420
その他	111,587	166,000
流動資産合計	2,035,885	1,975,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,798,531	2,799,881
減価償却累計額	△1,073,113	△1,094,431
建物及び構築物(純額)	1,725,418	1,705,450
機械装置及び運搬具	4,366,136	4,358,325
減価償却累計額	△2,702,639	△2,757,918
機械装置及び運搬具(純額)	1,663,497	1,600,407
土地	271,166	271,166
建設仮勘定	72,634	116,937
その他	51,123	49,723
減価償却累計額	△41,988	△41,723
その他(純額)	9,135	8,000
有形固定資産合計	3,741,853	3,701,962
無形固定資産	16,078	15,363
投資その他の資産		
投資その他の資産	259,951	315,036
投資その他の資産合計	259,951	315,036
固定資産合計	4,017,882	4,032,361
資産合計	6,053,767	6,007,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	274,765	330,282
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	551,703	535,034
未払法人税等	62,955	16,698
賞与引当金	-	28,590
その他	258,634	287,351
流動負債合計	1,448,058	1,497,957
固定負債		
長期借入金	2,295,443	2,170,222
資産除去債務	110,237	110,314
その他	73,984	67,599
固定負債合計	2,479,666	2,348,136
負債合計	3,927,725	3,846,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	694,539	694,539
利益剰余金	901,645	937,413
自己株式	△100,015	△100,015
株主資本合計	2,126,042	2,161,811
純資産合計	2,126,042	2,161,811
負債純資産合計	6,053,767	6,007,904

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	935,224	1,053,298
売上原価	808,343	881,739
売上総利益	126,880	171,559
販売費及び一般管理費	54,363	75,086
営業利益	72,516	96,472
営業外収益		
受取利息	6	7
保険解約返戻金	9,525	-
その他	641	479
営業外収益合計	10,173	486
営業外費用		
支払利息	7,820	8,069
支払手数料	2,440	2,442
その他	2,922	443
営業外費用合計	13,184	10,955
経常利益	69,505	86,004
特別利益		
固定資産売却益	13	981
特別利益合計	13	981
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	69,519	86,985
法人税、住民税及び事業税	15,542	14,354
法人税等調整額	3,094	10,898
法人税等合計	18,637	25,253
四半期純利益	50,882	61,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,882	61,732



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	50,882	61,732
四半期包括利益	50,882	61,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,882	61,732
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	356,922	43,775	58,516	476,009	935,224	—	935,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	356,922	43,775	58,516	476,009	935,224	—	935,224
セグメント利益	25,492	1,062	3,378	82,373	112,307	△39,790	72,516

(注) 1. セグメント利益の調整額39,790千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	460,679	25,066	62,280	505,272	1,053,298	—	1,053,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	460,679	25,066	62,280	505,272	1,053,298	—	1,053,298
セグメント利益又は損失 (△)	112,960	△6,837	606	48,822	155,552	△59,079	96,472

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額59,079千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2019年11月1日開催の取締役会において、以下のとおり、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)(注)の一環として行われる株式会社HOP(以下「公開買付者」といいます。)による当社の発行済普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同の意見を表明し、かつ、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。

なお、当該取締役会決議は、本公開買付け及びその後の一連の手続により当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細については、本日公表(2019年11月1日)の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、公開買付者が対象者の役員である取引、又は公開買付者が対象者の役員の依頼に基づき公開買付けを行う者であって対象者の役員と利益を共通にする者である取引をいいます。